



社会産業理工学研究交流会へようこそ！

～令和を切り拓く産官学金連携、さらにその先へ～

令和元年度の社会産業理工学研究交流会を開催致します。ご出展・ご参加の皆様ならびに外部評価委員の先生方には、ご協力・ご支援を賜り誠にありがとうございます。おかげさまで今夏も大学院社会産業理工学研究部と徳島大学の関係組織が一体となって、産官学金の貴重な出会いの場を設けさせていただきますことに心から感謝申し上げます。

さて、昨年徳島県は全国7拠点の一つとして、内閣府の「地方大学・地域産業創生交付金事業」に採択されました。この事業は県（政令市）が申請者となり、地域の大学と産業界がコンソーシアムをつくって産業振興と専門人材の育成を一体的に進め、国内外から学生が集まる「キラリと光る地方大学づくり」を目標としています。本学は、当初から事業案策定に関わって参りました。地域の産業振興と若者の雇用創出を行い、他の都道府県に先行して高齢化する県民の人口構成を前向きに捉え、あらゆる世代の人々が幸せになるチャンスに変える社会（創造的超高齢社会）の実現を目指すこととしました。そのスローガンは、本県の強みである「光」で創造的超高齢社会の将来を明るく照らす社会の実現と謳っています。具体的な取組内容として、まずグローバルな競争力を有する研究拠点である「ポストLEDフォトンクス研究所（pLED）」の新設、専門人材の育成のため大学院「創成科学研究科（仮称）」の新設、医光融合プロフェッショナル人材育成及び光産業を核としたリカレント教育の充実が挙げられます。さらに産官学金連携も肝となる柱の一つですが、その具体策としまして「医光融合支援室」、研究機器の共用利用を幅広く可能にする「地域協働技術センター」の設置と、上記の多様な施策を推進するシンクタンクとして常三島キャンパスに国立大学初の未来創造の場「フューチャーセンター A.B.A」があります。それらの施策を参画企業、教育機関、地元政財界、自治体等本県と徳島大学の総力を結集して推進しようとしております。

こうした徳島県と大学の関わる大きな事業を背景に、今年度の研究交流会は本研究部の多様な研究成果を社会に公開、理解を深めていただくとともに、学内外の研究交流、産官学金連携の推進を目的とした時宜を得た行事と位置付けられます。各出展内容は研究部の成果のみならず、pLEDや地域協働技術センター等本学の関係センターや県立工業技術センターに、本学産業院、大学支援機構等からも出展されます。それと共に、当研究部の若手研究、先端理工学教育研究プロジェクト、大学院生や阿波銀行学術・文化振興財団研究助成採択者の研究成果、さらに学外からは香川大学創造工学部の方々の発表と充実した内容です。また、特別講演では、三菱重工業(株)総合研究所顧問の山田明先生（九州大学カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所招聘教授、日本機械学会副会長）にご講演いただきます。

結びとなりますが、本学教職員、学生、大学院生はもとより、学内外連携機関や企業等から社会産業理工学研究交流会 2019 にご来学下さいました皆様を心から歓迎申し上げます。充実した機会を過ごしていただければ幸いに存じます。

大学院社会産業理工学研究部長
河村保彦